

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校
司書版 No.4
2020.05.19



特別貸出実施中

～今日も開館しています～

一人5冊まで
返却日 6月3日(水)

※学校再開後は
一人3冊まで
返却日は 1週間後

返却も忘れずに。



となります。

《歴史と感染症》

感染症対
人類の歴史
(ポプラ新書)

NO IMAGE

池上彰,
増田ユリヤ(著)
新潮社

GOOD!!

視点を変えると歴史は、とても面白い。

『感染症対人類の歴史
(ポプラ新書)』
池上彰、増田ユリヤ著
ポプラ社 2020.04

「ロミオとジュリエット」の悲劇
.....ペストの都市封鎖で手紙が間に合わず。
ニュートンの「万有引力発見」
.....ペストで大学が休校になって時間ができたから。
「インカ帝国の滅亡」
.....ヨーロッパ人が持ち込んだ天然痘のため。
「第一次世界大戦終結」
.....スペイン風邪の大流行が要因の一つ。
常に人類は感染症と共に生きてきたのです。

「今」を生きる私たちが、歴史の転換期の証人になる!

【カミュ著 『ペスト』が読まれる理由】

カミュの『ペスト』が多くの人に読まれています。三桜図書館にもあります。ご利用ください。

70年も前に書かれた小説がなぜ今、読まれているのでしょうか?

それは、小説に書かれた時代と現在に多くの共通点があるからだと言われています。

「ちょっと難しいかも?」と感じる人もいます。でも「おうち時間」が続くこの期間なら、じっくり読めます。チャレンジしてみたいか?がどう?

【こんな本もあります】

『デカメロン(ちくま文庫)』ボッカッチョ(著)
筑摩書房

流行しているペストから身を守ろうと別荘に籠もった男女10人が語る100物語。ちょっと「大人」なストーリーです。
明治・大正時代には発禁になりましたが、現代人にとっ

ては、それほど刺激的でもありません。

ペスト
(新潮文庫)

NO IMAGE

カミュ(著)
新潮社

『ペスト』がよく分かるブックレット。

われ反抗す、ゆえにわれら在り
(家穴見ブックレット)

NO IMAGE

宮田光雄(著)
岩波書店

『ペスト 改版(新潮文庫)』カミュ(著)
新潮社 2004年刊

アルジェリアのオラン市。医師のリウーは血まみれのネズミの死骸を発見する。そして原因不明の病気が流行し、多数の死者が発生する。ペストが流行したのだった。県知事は「ペスト」の発生を認めたがらず事態に向き合おうとしない。

封鎖された街の中で人々はどう生きるのか?

新しい本の紹介 →

新しくいった本

※新着図書コーナーにないときにはカウンターで予約してください。

逆ソクラテス

NO IMAGE

伊坂幸太郎 (著)
集英社

クスノキの
番人

NO IMAGE

東野圭吾 (著)
実業之日本社

勿忘草の
味く町で

NO IMAGE

夏川草介 (著)
KADOKAWA

発注
いただきました！

NO IMAGE

朝井リョウ (著)
集英社

歩道橋
シネマ

NO IMAGE

恩田陸 (著)
新潮社

『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎 (著) 集英社

「僕は、そうは、思わない」先入観をひっくり返せ！全部、子どもが主人公の短篇5作。

読後感スツキリ。

『クスノキの番人』

東野圭吾 (著) 実業之日本社

そのクスノキに祈れば願いが叶う。人生が上手くいかない青年が、そのクスノキの番人をする事になり、いろんな人と出会う。

『勿忘草の味く町で:安曇野診療記』

夏川草介 (著) KADOKAWA

高齢者医療に正解はない。地方の病院で患者としっかり向き合う若き医師の日々を描く。『神様のカルテ』のイチさんがチラッと出てきます。

『発注いただきました！』

朝井リョウ (著) 集英社

さまざまな企業からの「発注」に応じて朝井リョウが書いた短篇小説、エッセイをまとめたモノ。キラッと光るアラカルト本。

『歩道橋シネマ』

恩田陸 (著) 新潮社

ファンタジー、ホラー、ミステリー、SFと幅広いジャンルを集めた18の短編集。恩田陸って多才！

平安
ガールフレンド

NO IMAGE

酒井順子 (著)
KADOKAWA

源氏物語
(日本文学全集)

NO IMAGE

角田光代 (訳)
河出書房新社

ざんねんな
万葉集

NO IMAGE

岡本梨奈 (著)
飛鳥新社

60分でわかる
5G
ビジネス最前線

NO IMAGE

佐野正弘 (著)
技術評論社

自己肯定感の
教科書

NO IMAGE

中島輝 (著)
SBクリエイティブ

『平安ガールフレンド』

酒井順子 (著) KADOKAWA

『負け犬の遠吠え』の著者がガールズトークしてみたい作家たち5人をピックアップ。酒井順子流「平安ベストセラー作家」の解体新書。

『源氏物語』(全3巻)

角田光代 (訳) 河出書房新社

1000年前のベストセラーを現代に蘇らせる。「読むリズム」を崩さず、原文に忠実に、読みやすく、面白くした源氏物語。

『ざんねんな万葉集』

岡本梨奈 (著) 飛鳥新社

いろんな人の歌を集めた万葉集には、ダメダメな人のイタい歌も収録されています。でも、どうしようもない「人間らしさ」満載の一冊。

『60分で分かる！5Gビジネス最前線』

佐野正弘 (著) 技術評論社

「5G」って何だ！5Gになると、私たちの生活はどう変わるの？
各種キャリアの動向も紹介。

『自己肯定感の教科書:何があっても「大丈夫。」と思えるようになる』

中島輝 (著) SBクリエイティブ

近年、「自己肯定感」に注目が集まっている。では、自己肯定感とは何だろうか？